

■黒井小学校の一日

平成31年度学校経営方針

授業も大切、休み時間も大切、
さまざまな工夫と環境づくりを考えた、黒井小学校ならではの時間があります。

ONE DAY



多くのボランティアに見守られ集団登校します。上の学年が責任を持ちます。トンネルでは児童企画委員が、教室では担任が笑顔で待ち受けます。

スキルタイム(算数計算訓練)は、始業式から修了式まで、毎日欠かさず行います。10分間は誰もしゃべりません。鉛筆の音だけが聞こえる集中の時間です。自分のペースで力を伸ばします。



国語教育に力を入れています。また、全ての教育活動を通して「言語能力」を育てます。①たくさんの言葉を知り、②根拠を持って自分の考えが言え(書け)、③伝える相手を意識して表現できる子を育てます。また、④相手が何を伝えたいのかを聞き取り、考えを深める授業をします。「言語能力」はコミュニケーション力である以前に認識力・思考力・判断力の基盤となります。

「共生社会」の実現を目指す人を育てます。「自分がされていやなことは、人にしない、言わない」ことを黒井小のルールの最上級に位置づけています。

心豊かでやさしいということは、家庭・地域・学校が子どもに望むことへのNO.1です。



縦割り班(1～6年混在)で昼休みに遊んだり、運動会で活動したりします。県立氷上高等学校での体験授業もあり、異年齢交流が人格形成に良い影響を与えます。



2年生が孔雀の世話をします。命の学習、豊かな心を育てます。

地域教材の宝庫である黒井小学校では、6年間で黒井の歴史や文化を系統的に学び、ふるさとに生きる基盤を育てます。6年生による11月「黒井城まつり」での学習発表や戦国太鼓の演奏は、その集大成になります。地域・家庭・学校が、それぞれの役割を果たしつつ、共通の子ども像を持って子どもの育成にあたっています。



7:50～
登校

8:10～
スキルタイム

8:25～
朝の会

8:35～
1校時国語

9:25～
2校時算数

10:10～
業間

10:30～
3校時体育

11:20～
4校時外国語

12:05～
給食・昼休み

13:20～
掃除

13:40～
5校時音楽

14:30～
6校時 総合的な学習の時間

15:20～
終わりの会

15:40～
最終下校

言われなくても荷物の整理をし、宿題を出し、連絡帳に明日の予定・宿題を書き写します。朝の時点で家庭学習や明日の予定を見通します。1～6年生まで同じやり方です。



1日1役、仕事が与えられています。配ったり、皆の健康チェックをしたり、頑張った友だちに手作りメダルを渡すような係もあります。キャリア教育の視点を持ち「協働」=集団の中で自分を活かせる力を培います。

主体的に学びに向かう子どもを育てます。自分に合った目標設定と、振り返りを習慣化させます。「こんなふうになりたい」(ロールモデル)と思われる高学年、大人であるために、自分を磨きつづけます。

体育の授業や外遊びで、楽しみながら身体能力を育てます。神経細胞が著しく発達する小学生の時期に、バランス感覚・リズム感・敏捷性を養うことが大切です。背筋を伸ばして座り、しっかりと立つことや、体カテストの全国標準値を目指します。



21世紀型能力へシフトします。ICTを活用し、フログラミング教育や外国語教育を行います。英語では、ALTのネイティブ発音に接し、海外の学校とスカイプ(TV電話)で交流し、使える英語教育を進めます。



給食はランチルームで楽しくいただきます。栄養教諭が巡回し、健全な食生活を実践できる力も養います。

「ひょうごがんばりタイム」(放課後学習)で学習のつまずきを解消します。また、金曜日は「活用型算数・国語」の宿題を出し、休日に課題克服に取り組ませます。

終わりの会では、友だちの良いところを褒め合うなど、1人1人の個性を認め、価値観を尊重しながら、人格を育てていきます。



下校時には、全教職員が下校集会に出て、すべての児童に「さようなら」と、あいさつを交わします。



■コミュニティ・スクール導入計画

2019年	2月	第1回黒井っ子の未来を考える会
	5月	第1回準備委員会
	6月	第2回黒井っ子の未来を考える会
	7月	第2回準備委員会
		地区懇談会にて周知を図る
	8月	学校運営協議会発足

